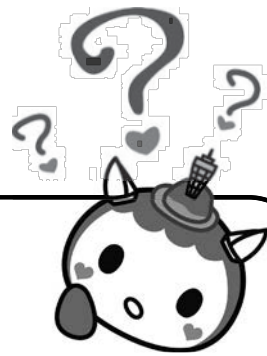


◎若年性認知症を知っていますか？



若年性認知症って？

65歳未満で発症した認知症のことです。

発症年齢は平均で51.3歳で、約3割は50歳未満で発症すると報告されており、働き盛りの世代でも発症する人はいます。

認知症の発症はご本人とご家族に大きな影響をもたらしますが、周囲の人々が理解を深めることで、いきいきと暮らしている人もいます。

どんな変化で気が付くの？

このようなサインは認知症の可能性ががあります

職場での変化

- スケジュールの管理ができない
- 約束を忘れてしまう、忘れ物が増える
- 作業に手間取ったり、ミスが目立つようになる
- 段取りが悪くなり、優先順位がわからない
- 指示されたことが理解できない

生活の変化

- 財布や鍵をどこに置いたかわからなくなる
- お金の計算や漢字の読み方がわからなくなる
- 知っているはずの場所で道に迷ってしまう
- 身だしなみに無頓着になる
(歯磨きなどをしなくなった)
- 好きだった趣味の活動をしなくなる

認知症かも、と思ったら？

早めに受診をしましょう！ 早期受診にはこんなメリットがあります。

- ・治療により改善する病気の可能性があります。
- ・今後の生活の設計をたてたり、暮らしに必要な相談先を確保できます。
- ・初診日が障害年金の受給に関わります(初診日に加入している年金により、受給できる年金が異なります)。

※参考 神奈川県 高齢福祉課「ご存じですか？若年性認知症のこと」